

市高野球部の発展を願って

寄附に対する感謝状贈呈式

1/4回



市立和歌山高等学校の卒業生であり、プロ野球選手の小園 健太選手（横浜 DeNA ベイスターズ）と松川 虎生選手（千葉ロッテマリーンズ）より、市高へ寄附をいただきました。小園選手と松川選手は「恩返しをしたいという思いで寄附させていただきました」と話していました。

いただいた寄附金は、市高野球部の発展のために活用していく予定です。

20歳の新たな門出

令和5年（2023年）和歌山市はたちのつどい

1/8回



1部（南部）



2部（北部）

和歌山城ホールにて、はたちのつどいが開催されました。和歌山城ホール前や屋上では、友人らとスマホで写真を撮るなど、再会を喜ぶ様子が見られました。式典は、新型コロナウイルス感染症対策のため2部に分けて行われました。尾花市長は、「ふるさととの絆を大切にしながら、一度きりの人生、失敗を恐れず挑戦し、大きく羽ばたいてください」とエールを送りました。

お城の未来を様々な視点で

未来の和歌山城を考えるシンポジウム

1/9回



和歌山城ホールにて、未来の和歌山城を考えるシンポジウムが開催されました。城郭考古学者で奈良大学教授の千田 嘉博氏による「近世城郭としての和歌山城」についての講演や、お城インスタグラマーのKAORI氏が案内する「VRで楽しむ和歌山城の魅力とメタバース和歌山城ツアー」、パネルディスカッションなどが行われました。市民にとっての「未来の和歌山城」について、考えを深める会となりました。

和歌山城で新年を祝う

和歌山城の新春初登閣

第44回新春つれもて歩こう走ろう会

1/1回



毎年恒例の和歌山城新春イベントが、3年ぶりに通常開催となりました。

天守閣無料開放には、新年をお祝いしようと多くの方が訪れました。先着1,000人の方に、記念品の「かわらけ」が配布されました。雲の切れ間から初日の出が顔を出すと、カメラやスマートフォンで一気にシャッターを切っていました。

新春つれもて歩こう走ろう会にも、多くの参加者が集まりました。参加者らは、和歌山城周辺のコースを自分のペースで歩き、走り、爽やかな汗を流していました。

訪れた人らは、思い思いの時間を過ごし、気持ちを新たにしているようでした。

救急車などの導入へ

寄附に対する感謝状贈呈式

12/23回

賃貸住宅センター取締役会長の塚本 治雄氏より、本市へ3億円の寄附をいただきました。「救急車の出動件数が増えているので、救急車の導入などに使っていただければ」と話していました。

塚本氏からは令和2年度にも3億5,000万円の寄附と高規格救急車2台、オゾンガス式除染装置及び救命処置資機材各一式、VR防災体験車を寄贈していただいています。

尾花市長は「ふるさとを愛する塚本さんの意向を踏まえて活用していきたい」と感謝の言葉を述べ、感謝状を贈呈しました。

ハーブの香りと新年を迎える

ハーブを使ったお正月飾り教室

12/19回



ハーブを使った「しめ飾り」を作る講座が、西庄ふれあいの郷ハーブ園で開催されました。参加者らは、講師に教わりながら、ピオニーなどの造花に加え、ハーブ園で採れるラベンダーやローズマリーを使い、飾り付けを行いました。ラベンダーなどのハーブの香りには、魔除けの力があるとされています。安らぐ香りとともに、幸福な一年が来るようにと願いを込めながら、お正月の準備を行いました。



副会長の永井 光代氏（左）取締役会長の塚本 治雄氏（中央）

すくすく育てね 和歌山市のこどもたち
Wakakko わかっこ

3歳未満のお子さん写真大募集!

- 市HP(ID:1027728)の専用フォームから応募できます。
- 応募多数の場合は抽選で掲載します。
- 市HPのトップにもランダムに表示します。



にし あとは
西音羽ちゃん
R4.4.21生（西丁丁）



やまさき せな
山崎聖永ちゃん
R4.1.22生（秋月）



みなた はる
南方晴ちゃん
R3.9.26生（湊）



やみした こあ
藪下 功愛ちゃん
R4.4.22生（岩橋）